



▼永瀬校長から卒業証書を受け取る卒業生



## 仲間との思い出を胸に迎えた旅立ちの日

### 甲佐中学校卒業証書授与式

3月13日（土）甲佐中学校で令和2年度卒業証書授与式が行われ、卒業生85人が恩師や仲間との別れを惜しみました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、昨年同様に同校（永瀬善久校長）の在校生や来賓の参加が見送られるなど規模を縮小して実施。保護者や恩師らが見守る中、壇上上がった卒業生一人一人に永瀬校長から卒業証書が手渡されました。

卒業生に向けて永瀬校長は「皆さんは、これからそれぞれの進路を歩いていきます。あなたを支える多くの人たちが、あなたの未来を期待しています。しかし自分の未来に一番期待しているのはあなた自身であってください」とあいさつ。

蔵田教育長は「自分の夢や目標を定め、それを絶対見失うことなく自らの成すべきことに着実に一歩一歩、歩みを進めてほしい」とエールを送りました。

## 震災からの5年を振り返る

### 宮内地区社会教育センターで写真展

熊本地震から5年を迎えるのを前に、宮内地区社会教育センターで震災後の地域を記録した写真の展示が行われています。

写真は、西坂和洋さん（西原区）が熊本地震やその後の豪雨災害で被害を受けた宮内地区や町内各地を写したものなど約300点。町内仮設団地の姿も納められており、西坂さんは「写真で地域の復興を振り返ってもらえたら」と話しました。

写真展は同センター（☎096-234-0762）で4月30日（金）午後4時まで平日のみ開催予定。



▲震災後に地域の復旧を写真に撮りためた西坂さん



◀鈴木事務所長（左）へ要望書を手渡す奥名町長

## 水害から地域の暮らしを守るために

### 国土交通省熊本河川国道事務所に要望書を提出

2月24日（水）国土交通省熊本河川国道事務所で、本町を貫流する一級河川緑川の管理を行う同事務所に対して、河川整備促進などについての町の要望活動を行いました。

町は、主に①洪水に備えた堤防の整備、②かわまちづくり支援事業（熊本甲佐総合運動公園整備）に伴う階段護岸の整備、③防災ステーションの整備、④内水対策に伴う排水機場および排水ポンプの整備の支援協力、⑤河川内の堆積土砂の撤去および樹木伐採について要望。奥名町長から鈴木学熊本河川国道事務所長に要望書を手渡ししました。

## 協力隊のつながりを深める

井戸江峡交流拠点施設で県内移住者が交流

3月18日（木）井戸江の井戸江峡交流拠点施設で地域おこし協力隊員と県内移住者との交流会が開催されました。

県が、任期が終了した隊員が引き続き地域活動の担い手として活躍できる体制整備の一環として開催。県内各地の協力隊員や地域で活動続ける協力隊OB・OG、県外からの移住者など約30人が参加し、春の陽気に包まれたキャンプ場でのひとときを楽しみました。

3月現在、県内36市町村で201人の地域おこし協力隊員が活動に取り組んでいます。



▲井戸江峡で県内移住者との交流を楽しむ参加者



▲3試合出場1ゴール2アシストの一村選手

## 九州大会で一村選手が躍動

男子第42回九州高等学校サッカー大会

2月20日（土）～22日（月）、長崎県の島原市宮平成町人工芝グラウンドなどで開催された男子第42回九州高等学校（U-17）サッカー大会（九州高等学校サッカー新人大会）に、一村聖連選手（大津高校2年・仁田子区）が出場しました。

一村選手は3試合に途中出場し、1ゴール2アシストと活躍。チームは、2勝1分けの成績をおさめるも得点数の差で惜しくも予選敗退。

大会を振り返って「成果も課題も出た大会でした。高校サッカー生活も最後なので、チーム目標の全国制覇を目指して頑張ります」と雪辱を誓いました。

## 新たな雇用の創出を

信和鋼板（株）と立地協定を締結



▲（左から）県庁で行われた調印式に臨んだ信和鋼板（株）の隈部和日周常務取締役、隈部佳克社長、蒲島知事、奥名町長

2月22日（月）県庁で、町と信和鋼板株式会社（北九州市）が蒲島郁夫県知事立会の下、企業進出に伴う立地協定を締結しました。

同社（隈部佳克社長）は、1954年創業で鉄鋼製品の加工・販売を手掛けており、同社3カ所目となる工場進出先として本町を選定。下横田地内の敷地約8200平方メートルに、鉄骨造の工場棟と事務所棟を新設することとしました。同工場では金属製の屋根材などを製造する計画で来年7月の稼働を目指しており、新規雇用が7人見込まれています。

調印式に臨んだ隈部社長は「西日本を中心に事業を展開しており、今回、九州の中心である熊本県甲佐町に工場を設けることで、新たに南九州への販路を拡大できれば」と今後の事業展開を話しました。

調印式に先立ち、同社から震災復興および本町の発展に使ってほしいと寄付金500万円が贈呈されました。目録を受け取った奥名町長が「大切に使用させていただきます」と感謝を述べました。